

当協会ホームページの会員用ページに当協会活動を定期的に報告します。

HP 事務局だより 平成24年7月～8月(予定分)

平成24年8月1日 常務理事 事務局長 甲賀 大樹

## 1. 法人業務

- \* 3月28日付の公益社団法人への移行認定申請に対して、内閣総理大臣より公益社団法人として7月20日付で認定を受け、移行登記を8月1日付でしました。これに伴い、旧法人は解散、旧法人役員の権限は消失しました。退任される役員各位、ありがとうございました。引き続きこれからもよろしくお願いいたします。  
公益社団法人への移行により、旧法人での事業年度が終了することになります。旧法人での事業ならびに決算報告について10月31日までに総会で承認していただく必要があるため、8月上旬から準備し、まずは総会での議案策定のための公益社団法人日本滑空協会理事会を開催する予定です。新役員各位、どうぞよろしくお願いいたします。

## 2. 滑空スポーツ統括・普及事業

- \* 関東西部地区飛行連絡会  
7/18(水) 13:00～17:00 於自衛隊入間基地  
航空、陸上、海上各自衛隊飛行隊、警察、消防、使用事業者、飛行団体、滑空団体関係者による関東西部地区空域に関する連絡会。滑空関係では、当協会のほか、(公社)日本グライダークラブ、(公財)日本学生航空連盟、(社)長野県航空協会、諏訪市グライダー協会が参加。  
12:30から30分程度、希望者はタワー見学させていただきました。
- \* 自家用操縦士実地試験実施細則の見直しに関するヒアリング  
7/4(水) 14:00～17:00 於(公社)日本航空機操縦士協会会議室  
技量維持連絡会ならびに5団体関係者に対して、航空局安全部運航安全課によるヒアリングを実施。  
同ヒアリングを受けて7/31(火)～8/7(火)全国滑空団体、当協会指定航空従事者養成施設関係者、航空安全講習会認定講師、日本滑空記章試験員、公式立会人にアンケートを実施、取り纏め後、技量維持連絡会事務局(JAPA)に報告。当協会より航空局に意見具申。

## 3. 滑空スポーツ愛好者育成事業

- \* 滑空スポーツ講習会2012  
第1回 7/14(土)13:00～16:30 於(社)長野県航空協会クラブハウス  
テーマ：“長野ウエーブフライト(今シーズンの報告と今後の可能性)”  
講師：(社)長野県航空協会メンバー(万場泰雄、茂田慶一、正野篤士、小高功)

25名参加。ウエーブ飛行に使用する実際の機材などの紹介もあった。

(同じ内容の滑空スポーツ講習会を12月8日(土)午後、名古屋で開催します。)

\* FAI滑空機公式立会人・日本滑空記章試験員講習会

7/14(土)11:00~12:00

滑空スポーツ講習会の前に同じ場所で公式立会人および日本滑空記章試験員講習会を開催。

\* 航空安全講習会

7/15(日)13:00~17:00 於大野町中央公民館

局通達に基づく航空安全講習会を開催。(滑空機特化) 32名 参加

テーマ・講師: グライダーの点検 認定講師 田口 昇

リスクアセスメントについて 認定講師 末永里美

トピックス(航空法改正; 特定操縦技能審査) 認定講師 吉田 徹

#### 4. 滑空スポーツ競技会関連事業

\* 第45回全日本高等学校滑空選手権大会開催

7/27(金)~29(日) 於妻沼滑空場

日本航空高等学校山梨キャンパス、同能登空港キャンパス、慶應義塾高等学校より23選手が参加。国内唯一の高等学校滑空競技会。

ASK21 2機(JA2470 およびJA2550)を使用し、教官同乗ウインチ曳航による基本操作競技(日本航空高等学校生徒はモーターグライダー搭乗のため、ウインチ上昇は採点対象外)。

第1部、第2部の最優秀選手に日本滑空協会賞を授与。

第1部: 空中操作および着陸 6選手参加

優勝: 栗野隆世(慶應義塾高等学校)

2位: 藤澤雄一(日本航空高等学校能登空港キャンパス)

3位: 葉山智大(慶應義塾高等学校)

第2部: 空中操作 17選手参加

優勝: 馬場巧(日本航空高等学校能登空港キャンパス)

2位: 大西亮佑(日本航空高等学校能登空港キャンパス)

3位: 二宮湧理(日本航空高等学校能登空港キャンパス)

3位: 荒井将季(慶應義塾高等学校)

団体優勝: 日本航空高等学校能登空港キャンパス

\* 第16回「原田覚一郎杯」大学対抗グライダー競技大会

8/8(水)~16(木) 於妻沼滑空場

出場校: 日本大学、東海大学、関東学院大学、青山学院大学、学習院大学、中央大学  
最優秀選手、団体優勝校に滑空奨励賞を授与。

以上